



謹んで新春の

お慶びを申し上げます

財団法人東京都剣道連盟

会長 伊藤元明

理事一同

燦として輝く新春の陽光が、東都の剣道界にふりそそいでいます。明けまして おめでとうございます。

剣道を愛する各位の弥栄をお祈り申し上げます。

金融危機に端を発した不透明、不確実な内外の情勢、日本の社会では業種や企業規模を問わず企業倫理の不在を示す事件が頻発しています。かつて、イギリスの経済学者ケインズJ・Mは、「経済学は本質的にモラル・サイエンス」であると喝破しました。

中国五経の「礼記」を出典とする倫理の「倫」は、「なかま、共同体」を意味し、「理」は「ことわり、筋道」です。つまり「人間の道」であり、剣道の理念に通じます。不当な利益を求め、そのためには手段を選ばない、そのような世相に眉をひそめる剣道人のひとりです。

財団法人東京都剣道連盟は、加盟団体各位の提言を傾聴し、信頼の絆をたかめて、剣道文化の普及活動の使命を堅持して歩きます。

「天皇が口を開いた、そして、戦争は終わった。」、アメリカの人類学者ルース・ベネディクト女史の『菊と刀』に載る一文は、日本人にとって忘れられない深く重い言葉です。

終戦と共に、精神喪失状態に陥った日本、首都剣道界の先人は、日本人の名誉と誇りを再生させるため日本剣道の復権に東奔西走の努力を重ねました。私たちは、東京都剣道連盟を結成した揺ぎない

経緯を後進の剣道人に伝える責務があります。

現代剣道の源泉を辿ると、戦いのなかで生を求め、個の技術をたかめて技法とした「剣術」は、個の事実を検証して導く帰納法的手法によって誕生したと思います。そして「理法と心」を礎にする「道」に支えられる現代の「剣道」は、個から「全」へと発展した日本古来の伝統的武道として存在しています。

故土田國保氏は、国際社会において、日本の魂ともいえる剣道の五徳（正義・廉恥・勇武・礼節・謙讓）を修行することが武士道の実践につながるのだと強調されました。

寛仁親王杯ご下賜に際していただいた親王殿下の掉尾を飾るおことは正に機軸を一つにしています。ここに明記し、新春の所感といたします。

寛仁親王殿下のおことは

「素晴らしい人間」「素晴らしい国際人」となる為、我が国固有の伝統文化たる、「剣道」を、「人生の手段」として、日夜、奮励努力されん事を心から期待しつつ御挨拶と致します。

（平成十五年九月六日）

